

ホール技術者新規募集のお知らせ

八丈町では、多目的ホール「おじゃれ」の「ホール技術者」の新規募集を予定しており、以下の日程で研修を行います。ホール技術者は、舞台発表などのイベントを行う際に、音響、照明、舞台の専門的なオペレーションを行う専門職です。研修を受けたい方や興味のある方は教育課生涯学習係(2-7071)にお問い合わせください。

研修日 : 2019年2月23日(土)(初心者)
24日(日)(経験者)

部門 : 音響 照明 舞台

11月～1月のイベント予定 (協会主催・後援、加盟団体主催・出演等)

※協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照下さい。

- 11月**
23日(金・祝) 11:00～15:00 MAKAHIKI2018(コウリマナニエ主催) 於:底土船客待合所
- 12月**
23日(日) 八丈ウインドオーケストラクリスマスコンサート(協会後援) 於:おじゃれホール
- 1月～2月**
八丈島歴史セミナー(『八丈実記』を読む会主催、協会後援) 於:七島信用組合(予定)

富士見地区公会堂

年末年始閉館のお知らせ

年末年始は富士見地区公会堂が閉館となります。ホール及び会議室の利用を休止させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、あらかじめご了承ください。

年末年始閉館期間

12月28日(金)～4日(金)



文協HP・QRコード

八丈島文化協会 会報 第26号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2018年11月9日発行

今年は

第6回八丈島芸能文化祭11/17(土)です

—八丈島の太鼓・踊り・唄を楽しもう—

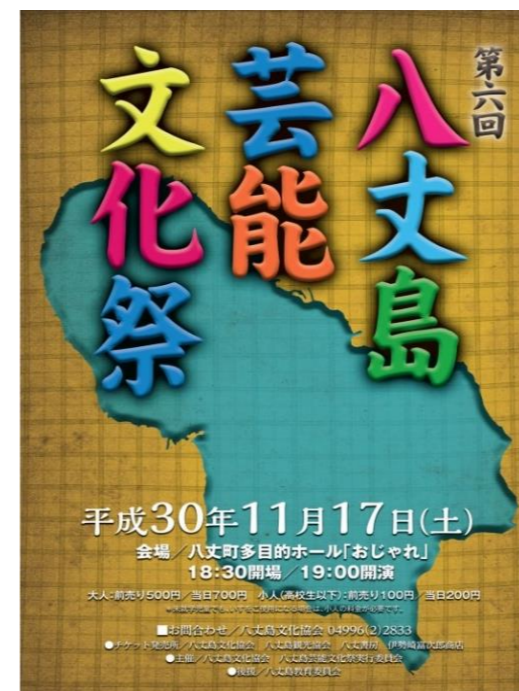
今年も、第6回となる八丈島芸能文化祭が行われます。昨年・一昨年は、ストーリー性重視ということで取り組んできましたが、今年はシンプルに、八丈島の太鼓や踊り、民謡を発表しようということになりました。

関係団体に「出演可否」のアンケートを取り、希望をもとに出演者を決めました。特に今回はただやるのではなく、発表する団体や演目についての解説をつけ、より内容を深め、参加した方々により知ってもらうことを考えています。

島民の方々、また、観光客の皆様にもアピールして、より多くの方々に参加してほしいと願っています。

- ◆参加団体 子ども太鼓、八丈太鼓・月曜会、八丈島・よされ会、
樫立踊り保存会、中之郷ヤトトンの会、朝元会、八丈島連合婦人会、

みなさん、お誘いあってお出かけ下さい。



- 日時: 11月17日(土) 開場18:30(開演19:00)
- 場所: 八丈町多目的ホールおじゃれ
- 入場料: 一般 前売500円、当日700円
高校生以下 前売100円、当日200円
未就学児 無料
(*お席が必要な場合は要入場料です)
- 前売券販売所: 観光協会、八丈書房、富次朗商店、
八丈島文化協会、八丈島芸能文化祭実行委員、
八丈島文化協会理事・役員
- 主催: 八丈島文化協会、八丈島芸能文化祭実行委員会
連絡先電話: 2-2833 八丈島文化協会
- 後援: 八丈町、八丈町教育委員会

第94回 “あびの宴” 子ども招待公演

The SHOW by to R mansion 10/6

すっかりおなじみになった年1度のお子様無料招待公演。
今回は、日本だけではなく世界中で大評判の“The SHOW”です。
「まるでおもちゃ箱のようなフィジカルシアター」のはじまりはじまり！！

パントマイム・・・目の前のガラスに触れるパントマイム、参加者全員で演じた。

アクロバット・・・4人が1つになり、ひっくり返り、ぐるぐる回り、最後は、ハイ、決めのポーズ。

演劇・・・・・・ミュージカル風の“3人のおじさん”。音楽が耳に残った。

マジック・・・・・・首なし人間登場。彼がたばこを吸うと、あら不思議、他の3人が煙を吐いた？！

オブジェを使ったパフォーマンス・・・・

一本の赤い紐、次々に形を変える。会場の子どもたちは、“船”“鉄砲”“馬”と当てていく。4人の息の合った動きで、本当にそのように見えちゃうんだな、これが。

最後の見せ場は映画名場面集・・・タイタニック、ある愛の歌、ロッキー・・・・

子どもたちには馴染みのない映画なのに、つつい引き込まれ、パンチを受け起き上がれないロッキーに、会場から“ロッキー、ロッキー”の子どもたちの大声援がわき起こる。恋人のために、日夜身体を鍛え、宿敵を倒し、賞金をゲットしたロッキー。すっかり映画1本を見た気分。

まるで真夏のような暑さの中、凝ったメイクと衣装で矢継ぎ早に演じ、語り、動く4人のパフォーマー。

観客は、小っちゃい子からシニア世代までその数約150、みーんな笑い、楽しんだ公演でした。



八丈島文化フェスティバル 来年は第30回!!

第30回八丈島文化フェスティバル 30周年記念大会を開催します。
舞台部門においては、新規の団体や懐かしい顔ぶれもそろい、工夫をこらした各団体のステージに、コラボレーションやサプライズ企画など盛りだくさんの内容です。

作品展部門は例年の倍以上の参加者が揃い、様々なジャンルの展示に加え、2月11日にはワークショップも開催することになりました。

今年度は30回目の節目となる文化フェスティバルです。一日中いても飽きさせない、会場にいる全ての皆さんが楽しめる会にしたいと思っています。是非ご来場ください。

■開催日

舞台部門 平成31年2月10日(日)

作品展部門 平成31年2月9日(土)～2月11日(月)

※作品展部門は平成31年2月11日(月)にワークショップを開催します

■会場

【舞台部門】 八丈町多目的ホール「おじゃれ」 【作品展部門】 八丈町民ギャラリー

首都大学東京との共催で 第75回 八丈島民大学講座開く



9月7日(金)・8日(土)午後7時から、七島信用組合八丈島支店を会場に、首都大学東京との共催で第75回八丈島民大学講座を開催しました。

7日は信州大学繊維学部森山徹准教授による「心とはなにかーダンゴムシの行動観察からわかったこと」というユニークな研究成果の発表を70人が受講しました。

受講者からは、「聴講者の意見を沢山きながらの講義だったので、大変興味深く、充実していた。ダンゴムシの実験に関しては、道しるべフェロモンのようなものではという気がするが、『心』とは何か、深く考えるよいきっかけになった。」(女性・30代)
「ダンゴムシにも決められた規則を破って外へ出られる意志、つまり『心』があったと、モノを見る自分の視点がより広がった。」(女性・20代)などの感想が寄せられました。

2日目は首都大学東京の住吉孝行名誉教授が「素粒子で探る宇宙誕生の謎」というテーマで、宇宙の誕生と物質の成り立ちに関する最先端の研究成果を、たくさんのスライドを使って講義しました。

会場を埋めた70人の受講者からは、「ふだん耳にしない単語がどんどん出てきて、ついていくのが大変だったが、知らない世界に触れる楽しさを味わえた。今後、関連書籍や報道にも関心がもてそう。」(女性・30代)、
「理解できた部分は少なかったが、興味深く話を聞けて良かった。初めての参加だが、来て良かったと心から思った。話しが難しくても、楽しい話は楽しい！」(男性・40代)
「ものすごく小さい数字で表される物質が、ものすごく大きな宇宙の謎を解くカギなのだということはわかったと思う。また、まだ見つけられていない物質もあって宇宙の謎は大きいこともわかった。」(女性・70代)などの声が寄せられました。

八丈島民大学講座は、「島にしながら大学の講義に参加し、混迷する時代の状況を自らの目で見きわめ、自らの手で明日を築いて行くために共に学ぶ機会を提供していく」ことを目的に開催しています。

次回は、来年2～3月の開催を予定しています。

2019年度町補助金関係の申請と予算折衝

本格的な秋が始まるこの時期は、文化協会の町への補助金申請の時期でもあります。今年も、町長などへの特別の内容での予算要望と、例年通りの通常的な補助金の申請とを行いました。

要望活動については、今回は、文化協会に事務員だけではなく事務局員的な仕事ができる人を配置したいということと、それに関わっての人員費の要望をしました。また、この要望が無理な場合は、地域おこし協力隊の派遣ができないかということも要望しました。予算要望などは、従来、教育委員会の担当者などと話をしてきましたが、一担当者では解決できる問題ではないので、今回はトップ交渉ということで、山下町長と話し合いました。

地域おこし協力隊は無理という感触であり、事務局員的な人事配置については、まずは実態を明らかにしてほしいということでした。協会としては、まず実態把握をしようということになりました。

通常的な申請の関係では、例年行っているイベントなどには大きな変更はありませんが、芸能文化祭については、内容を変更しようということになっています。従来はイベント形の取り組みでしたが、来年度は後継者育成に力を注ぎ、子どもたちが郷土芸能の練習をしている団体に参加した場合、本人の参加費と受け入れた団体への補助をするという考えです。そして、年度末に、その発表も兼ねた大がかりでない「芸能文化祭」を開催する予定です。7月に北大東島の子どもたちの八丈太鼓の公演が八丈でありましたが、村が大きく支援しているようでした。八丈町も、このような措置ができると喜ばしいことだと思います。この件は、まだ、教育委員会と折衝中の段階で、決定ではありません。